

事業所名

インクルーシブデイサービス ippo

支援プログラム（参考様式）

作成日

2026 年

3 月

8 日

法人（事業所）理念	すべての人が成長し輝ける場を提供します。									
支援方針	<p>障がいの有無や年齢に関わらず、誰もが同じ空間で過ごすことができるインクルーシブな環境を基盤とし、子どもたちが安心して挑戦し、小さな成功体験を積み重ねられる支援を行います。</p> <p>当事業所は、放課後等デイサービスと共生型地域密着型通所介護を同一事業所内で運営する特色ある環境を活かし、世代間交流を通じて、社会性・思いやり・役割意識の育成を図ります。</p> <p>また、支援はすべてオーダーメイドの個別支援計画書に基づき実施し、個々の発達段階や特性に応じた専門的支援を提供します。</p> <p>障がいの有無に関わらず、子どもたちが挑戦し、小さな成功体験を積み重ねられる放課後等デイサービス。感覚統合理論を取り入れた空手や多彩な活動を通じて、自己肯定感を育みながら成長を支えます。</p>									
営業時間	9 時	30 分	17 時	30 分	まで	送迎実施の有無	あり	なし	営業日	月曜～土曜 日曜・祝日 臨時開所あり
支 援 内 容						具 体 例				
本人支援	健康・生活	健康状態の維持 生活リズムや生活習慣の形成				トイレトレーニング 料理やお菓子作りなどを通じた食育 食具の使用についての段階的な支援				
	運動・感覚	姿勢と運動・動作の向上と活用 保有する感覚の総合的な活用				体操・空手を通じた運動療育 視覚・聴覚・触覚を刺激するゲームやクイズ				
	認知・行動	空間・時間・数などの概念形成の習慣 対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得				ブロックや立体の造形物を使った創作活動 音楽・リズムを使用した五感を刺激する活動 カウントに合わせて声を出すなど、その場にあった声量を認識できるプログラム				
	言語 コミュニケーション	言語の受容及び表出 コミュニケーションの基礎的能力の向上				考えの発表、好きなことのプレゼンテーション				
	人間関係 社会性	他者との関わり（人間関係）の形成 仲間づくりを集団への参加				礼に始まり礼に終わるコミュニケーション ペアになってお互いの良いところを言い合うプログラム				
主なプログラム	<ol style="list-style-type: none"> 感覚統合トレーニング（バランスボール、平均台、トランポリンなど） → 体幹を鍛え、姿勢や集中力を向上。 インクルーシブ空手（全日本空手道連盟公認の黒帯取得も可） → 型やミット打ちで、自己肯定感や忍耐力を養う。 学習・宿題サポート（高齢者の見守りもあり） → 勉強の習慣化を図り、学習へのモチベーションを高める。 				<ol style="list-style-type: none"> 創作活動（アート・クラフト） → 自由な発想で作品を作り、表現力を伸ばす。 クッキング・食育体験（高齢者と一緒に調理） → 食の大切さを学び、協力して作る喜びを実感。 リズムステップ&ダンス → 音楽に合わせて体を動かし、リズム感や協調性を育む。 季節のイベント（お祭り、撮影会、美容体験など） → 地域との交流を深め、ワクワクする経験を増やす。 					

<p>家族支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者との信頼関係を基盤とし、日々の様子や成長の共有を行いながら、安心して子育てができる環境づくりを支援する ・個別支援計画に基づき、ご家庭での関わり方や声かけについて具体的な助言を行い、家庭と事業所で一貫した支援が行えるよう調整する ・発達特性や行動の背景について専門的な視点から分かりやすく説明し、保護者の理解を深めることで、不安の軽減につなげる ・きょうだいを含めた家族全体への支援を視野に入れ、家庭内での困りごとや関係性についても相談に応じる ・進学や進路、将来に関する不安に対して、情報提供や関係機関との連携を通じた支援を行う ・共生型サービスの特性を活かし、多世代との関わりの中で見られる子どもの姿や成長を保護者へフィードバックすることで、新たな気づきや肯定的な理解につなげる 	<p>移行支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ライフステージの変化（進学・進級・卒業等）を見据え、将来的な生活や社会参加を意識した支援を行う ・本人の特性や強み、配慮事項を整理し、次の環境へ円滑に移行できるよう支援する ・新たな環境に対する不安軽減のため、事前の見通し提示や段階的な移行支援を実施する ・学校、相談支援専門員、医療機関、他事業所等の関係機関と定期的かつ継続的な情報共有を行う ・見学や引き継ぎ、必要に応じた同行支援等を行い、移行時の負担軽減を図る ・移行支援を単発的な対応ではなく、日常支援の延長として継続的に位置付けている
<p>地域支援・地域連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保健・医療・福祉・教育等の関係機関や障害福祉サービス事業所等との連携 ・個別支援計画に基づき、支援内容や対応方法の共通理解を図る ・サービス担当者会議やケース会議を通じて、役割分担を明確にしたチーム支援を構築する 	<p>職員の質の向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所内での研修の実施 ・保健・医療・福祉・教育等に関する外部研修の定期的な参加 ・強度行動障害支援者養成研修の受講
<p>主な行事等</p>	<p>・撮影会 ・美容Day ・外出 ・夏祭り ・運動会 ・クリスマス会 など</p>		